

## 令和6年度 第3回 香川県公共事業評価委員会 議事録

1. 日 時：令和6年9月3日（火） 13時30分～16時30分

2. 場 所：高松港旅客ターミナルビル 7階会議室

3. 出席者：委員（敬称略）

委員長 白木 渡（香川大学 名誉教授）

副委員長 末永 慶寛（香川大学創造工学部 教授・学部長）

委員 佐藤 好美（佐藤好美建築工房 主宰）

池田 弘子（(株)人間科学研究所 所長）

福村 晃一（香川大学経済学部 准教授）

國村 一郎（(一社)香川経済同友会 専務理事）

玉置 哲也（香川大学創造工学部 准教授）

（6名出席）

4. 議 事

(1) 事後評価対象計画

下記の7計画について、事業主体が自ら行った事後評価の妥当性を審議した。

①農山漁村地域整備計画 東かがわ市の漁港における海岸耐震対策

[事業主体：東かがわ市]

②港整備推進交付金計画 文化と芸術が織りなす活力あるみなとづくり計画

[事業主体：高松市]

③社会資本総合整備計画 活力のある香川の港づくり

[事業主体：香川県]

④社会資本総合整備計画 安全安心で活力のある香川の港づくり（防災・安全）

[事業主体：香川県]

⑤社会資本総合整備計画 高松市における安心・安全な港づくり（防災・安全）

[事業主体：高松市]

⑥社会資本総合整備計画 坂出市における港の安全性の向上（防災・安全）

[事業主体：坂出市]

⑦社会資本総合整備計画 活力ある多度津の港づくり

[事業主体：多度津町]

(2) 事業別審議結果

各計画の事業効果の発現状況として、計画番号①②⑤について、「十分な効果があった」、計画番号③④⑥⑦について、「一定の効果があった」と事業主体が評価したこと、また計画番号①～④及び⑥について「継続する」とした計画について「概ね妥当である」との意見を付す。委員からの主な意見は、以下のとおり。

- ・ 事業名、定量的指標及び整備内容の関係がわかり難いので工夫が必要。(計画②)
- ・ 施設の使い方やイベント時の交通手段等について考慮されたい。(計画③)
- ・ 既存施設の改修を行う際、近年の災害に対応できるよう考慮されたい。(計画④)
- ・ 東運河岸壁について、施設の安全性を確保するため、早急に対応されたい。  
(計画⑥)

— 以上 —